

- **化学肥料・化学農薬の使用低減**や、**耕畜連携による地域産堆肥等の有機質資材を活用した地域循環型農業の推進**を図るとともに、地域の環境に配慮して生産された農林水産物等の**地域ブランド化による認知度向上と消費拡大**を図る。

【作成主体】 大分県及び県内全18市町村

大分県、大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、姫島村、日出町、九重町、玖珠町

【計画の主な目標】

- ・ 有機農業の取組面積：868ha（R8）
- ・ 有機JAS認証ほ場面積：420ha（R8）

【取組のポイント】

- ・ 天敵や生物農薬の利用、抵抗性品種の導入など、化学農薬の使用低減に資するIPM技術や、堆肥など有機質資材の活用による地域循環型農業の普及を促進
- ・ ヒートポンプの導入等による施設園芸における温室効果ガス排出削減の取組を推進
- ・ 「国東半島宇佐地域世界農業遺産地域ブランド認証制度」などを活用し、環境に配慮して生産された農林水産物等のブランド化、認知度向上を推進

取組のイメージ

土づくり、減化学農薬、減化学肥料栽培の取組

- ・ IPM技術の普及拡大
- ・ 堆肥等の地域産有機質肥料活用の推進（耕畜連携）

温室効果ガス排出削減

- ・ ヒートポンプ等の省エネ機器設備の導入（農・林・漁業共通）
- ・ 畜産における飼料改善

地方公共団体、農林漁業者、食品産業事業者、地域関係者との連携

基盤確立事業

- ・ スマート農業技術の開発・普及
- ・ 地域資源を用いた肥料開発等による地域循環型農業の推進

流通・消費の促進

- ・ 有機農産物の消費者向けPR（イベント・学校給食等）
- ・ 環境に配慮して生産された農林水産物の地域ブランド化（特別栽培等）



土着天敵温存植物の定植（ソルゴー、okra、バジル等）



オーガニックイベントによる有機農産物のPR活動